

大分の青少年



令和3年度 大分県青少年健全育成大会

11月12日(金)にトキハ会館ロースの間で、令和3年度「大分県青少年健全育成大会」を新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて開催しました。

この大会は、青少年育成県民運動の一層の高揚を図るため開催するもので、青少年健全育成に功績のあった団体・個人の皆様に広瀬 勝貞 会長(大分県知事) より表彰状の授与を行いました。

続いて、少年の主張大分県大会で最優秀賞を受賞した菅 朱李さん(竹田市立竹田南部中学校2年)に、「祖母の教え」の演題で、「差別をなくすには互いの違いを超えて認め合うことが大切、相手の優しさや悲しみに気づける人になりたい」と発表いただき、大きな拍手が寄せられました。

続いてナラティブコミュニケーション教育研究所 所長の佐藤 敬子 氏より「子どもたちの自己実現を支える環境づくり～今どきの子どもたちの傾向と向き合い方～」と題して、今の子ども達の現状や周りの大人の関わり方等について講演が行われました。参加者から、「我々大人がもっと子ども達の声を聞き、存在をみとめるような関わり方を意識していきたい。」という声が聞かれるなど、子ども達の成長を促す支援の方法について考える機会となりました。



広瀬 勝貞 会長の挨拶



菅 朱李 さんの発表



表彰の様子



佐藤 敬子 氏の講演

大分県青少年育成県民会議会長表彰

■青少年団体の部(1団体)■

- ・三代目源流少年隊

■保護育成団体の部(2団体)■

- ・中津地区少年警察ボランティア協会
- ・豊後みさき太鼓育成会

■保護育成者の部(3名)■

- ・友永 瑤子 様 ・工藤 浩見 様 ・嶋 真由美 様



受賞者の皆様



子ども若者育成支援強調月間の取組



「県民総ぐるみあいさつ運動」

大分県青少年育成県民会議では、大人がお手本を示す「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の一環として「県民総ぐるみあいさつ運動」に取り組んでいます。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大分市中心部でのあいさつ運動は中止し、国東市で行われた「おおいた教育の日」推進大会の会場入口でのあいさつ運動や、各市町村ごとに啓発活動に取り組んでいただきました。

あいさつは人と人をつなげる大事な出会いの言葉です。子どもたちの社会性を育み、子どもたちは地域で守り育てると意識の高揚を図るため、毎月第3金曜日の「青少年の日」を中心に県下であいさつ運動を行っています。



「おおいた教育の日」推進大会 あいさつ運動
(県民会議事務局 ・ チャイルドラインおおいた)



啓発ティッシュ配布
(国東市 あいさつ運動)



第18回境川地区「三世代ふれあいウォーク」
(別府市 あいさつ運動)

「大分県少年の船」陸上研修「少年の船の家2021」

県では、青少年健全育成の一環として、毎年「大分県少年の船」を運航しています。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により沖縄への運航を中止しましたが、子ども達に体験活動の場を提供するために香々地青少年の家で10月9日～10日、1泊2日の「少年の船の家2021」研修を実施しました。県内各地から小中高生約100人が集まり、班ごとに協働して行う様々な体験活動に取り組みました。

中高生が小学生団員に寄り添い、集団を支える姿を小学生が見て育ち、中高生は大人に支えられながらリーダーシップを身につける異年齢集団の学びの場が少年の船の醍醐味です。

メインプログラム「少船ミッション」は、仲間の絆を深めるための課題解決活動です。「おおいた和牛」などの県産食材を班で話し合っって競り落とし、それを使ったオリジナルカレーの野外炊事に挑戦しました。始め緊張していた子ども達も、協力してミッションに挑むことで互いに打ち解けあっている様子でした。その後の班別の装飾製作や自主活動でも更に心の距離を縮め、ファイナルパーティでは、サプライズとしてめじろんや聖火ランナーを迎え、楽しい思い出となったようです。

参加者からは「新型コロナであまり交流できなかったけれど、新しい友達と仲良くできて楽しかった」「人の関わり、協力することの大切さを実感した」などの感想が聞かれました。

地域や世代を越えて課題に向かって活動を共にした子ども達が、この研修の経験を経て、今後様々な場所で活躍できることを期待しています。



「少船ミッションⅡ」(県産食材を使った野外炊事)



夕日を見ながら会食



班別シンボル装飾製作



班別自主活動



ミッションクリアの班写真を集めた県地図



黒田副知事の訪問



ファイナルパーティ

県民会議加盟団体の活動

大分県農業青年連絡協議会

問い合わせ先 097-506-3598

大分県農業青年連絡協議会は、農業青年の交流、そして県農業の次世代の担い手へと成長するため資質向上を図ることを目的に1955年に発足しました。令和3年度現在、会員90名、平均年齢32.7歳の農業に携わる若手が加入しており、県下11地域の地方農業青年連絡協議会で構成されています。また、農業青年の組織は全国各地に存在しており、全国交換大会や全国青年農業者会議などで交流を深め、幅広いネットワークを活かした活動を行っています。

県内での活動の中心は、農業経営で直面する課題の解決や新技術の導入等を計画・実践・振り返りのPDCAサイクルに基づいたプロジェクト活動です。毎年1月にプロジェクト実践発表大会を開催し、最優秀賞者は九州・沖縄大会、全国大会への道が開かれ、プロジェクト活動を通じて資質向上を図っています。

他にも消費者や会員の相互交流、資質向上に係る研修会を開催し、令和2年度からはWebやSNSを取り入れ、コロナ禍においても交流・資質向上を図っています。

Facebookを活用した情報発信も行っており、会員の農場紹介及びインタビュー、そして農産物の食べ方提案まで行う動画配信等も掲載しています。是非、Facebookページをご覧ください、興味を持った方は「いいね」をお願いします。



知事との意見交換



Facebookでの動画配信

一般社団法人 大分青年会議所

問い合わせ先 097-537-1623

発足は1949年東京青年商工会議所が「青年の持つ熱と力をもって、産業経済の発展に努め、常に認識を新たにしてその責務を達成しよう」といった趣旨のもとに誕生しました。「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感を持った20～40歳までの指導者たらしとする青年の団体です。その青年は、人種・国籍・性別・職業・宗教の別なく、自由な個人の思想によりその居住する各地域の青年会議所に入会できます。大分青年会議所は、大分のまちづくり、経営者、リーダーとしての自己啓発、社会への奉仕、会員相互の交流を目的として、その年々の基本方針に沿った重要事項を実施するための委員会を設置して活動を行っています。

青年会議所が他の団体と違うところは、40歳までの卒業制度があり必ず仲間は同年代であること、また、親会というものが無いので、いかなる団体の紐付きにもならず、自主性を持って運動できることにあります。人生で一番大事な時期に、自分の力を試し、伸ばし、一生の宝にすることが出来ます。

今年はコロナ禍の中ですが、時期や形を工夫しながら大分を元気にする事業を開催することができました。



セタブロードウェイ2021



コロナ禍からの復活事業「Re:Start Oita!」

大分ロータリークラブ

問い合わせ先 097-532-0611

大分ロータリークラブは、創立70周年記念事業として、大分県社会福祉協議会に100万円を寄付いたしました。この寄附金は、コロナ禍で生活に困窮する海外留学生を援助するための食料品購入に活用されました。

また、購入した食料品に加え、会員企業からも食料品を集め、大分県社会福祉協議会とNPO法人大学コンソーシアムおおいたと協同で、留学生向けの無料頒布会である「フードバンクマルシェ」をこれまでに3回開催しました。

海外留学生からは、「コロナでアルバイトなどの収入が減っている中で、生活が困窮していたので大変助かった」との声を多数いただいています。

さらに、当ロータリークラブでは、1962年度から現在まで、大分市内の小・中・高校・大分市少年の家をはじめ、最近では県立の盲学校・聾学校などに本を寄贈しており、寄贈された本は、「ロータリー文庫」として、たくさんの子供たちに愛読され続けています。



フードバンクマルシェ



ロータリー文庫

市町村民会議の取組

佐伯市 (佐伯市青少年育成市民会議)

佐伯市では、市町村合併以前から活動していた市内20地区の青少年育成協議会を主体に活動しています。各地区での子どもの日の事業やクリスマス会などの交流会、スポーツ・レクレーション大会、パトロールなど、多種多様な活動を行っています。また、全域的な活動としては、「佐伯火まつり」の際に佐伯警察署や防犯協会が実施する合同パトロールへの参加・協力も行っていきます。

令和3年度の各地区での活動例としては、地元農家の協力を得ての稲刈り体験や、地域住民指導による伝統芸能の継承、発表などがあります。

コロナ禍により、全域的な活動は難しい状況ではありますが、より小回りの利く各地区での活動が活発である利点を活かして、青少年の育成に取り組めます。



稲刈り体験



神楽の発表

「中学生・高校生地域リーダー育成研修」参加者募集

君の力で 地域を変える！ 未来が変わる！

期 日：令和4年1月30日(日) 9:15～16:30

会 場：豊後高田市教育会館・昭和の町フィールドワーク

※別府トキハ前・大分駅から会場まで(往復)は貸切バスを運行します。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止することもあります。

昨年のフィールドワークの様子



昭和、平成、令和と活性化を続ける「昭和の町」の魅力探求
～まちづくりに関わる人々のマインドをみつけよう～



〈応募について〉

県内在住中高生 40名程度

申込締切：令和4年1月11日(火)



〈お問い合わせ〉

大分県青少年育成県民会議 (大分市大手町3-1-1)

TEL:097-506-3088 FAX:097-506-1745

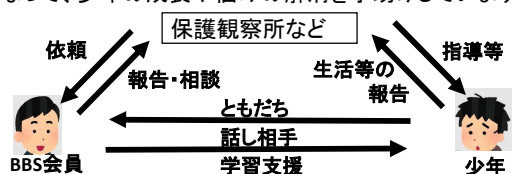
BBS会に入りませんか？

BBSとは、Big Brothers and Sisters Movementの略称で、県内に6地区約130名(うち大学生約80名)で組織された青少年ボランティア団体です。非行少年等と同じ目線で、いわば「兄」や「姉」のような立場で接することで、多くの少年たちの立ち直りを支援しています。

このような活動をしています

ともだち活動

兄や姉の目線に立って、非行少年達の話し相手、相談相手となって、少年の成長や悩みの解消を手助けしています。



非行防止活動

様々な広報活動や各種イベント、集会などを地域で実施し、犯罪や非行のない明るい社会の実現に努めています。

社会参加活動・社会貢献活動への協力

保護観察所と協力し、少年たちと共に清掃活動などの様々な活動に参加しながら、社会や誰かの役に立つ喜びを分かち合っています。



グループワーク

少年たちとグループになってスポーツやレクリエーションなどを行います。ともに何かを楽しむことにより、少年たち一人ひとりの時とは違った共感や、心を開くきっかけを与えます。



○入会に特別な資格は必要ありません。

○BBS会の趣旨に賛同される方であれば、どなたでも参加することができます。

【問い合わせ先】大分保護観察所企画調整課 TEL097-532-2053

アカウント名:MOJ_HOGO 検索 保護局ツイッター

